

(6) 今後の進め方について

提言に向けて引き続き検討を深めるべき論点（案）

- ・「2040年度までに省人化3割」に向けた技術開発・活用推進の中長期ロードマップ
- ・基盤技術やデータを共有し、技術開発を加速する仕組み
- ・遠隔施工のしやすい砂防堰堤の構造の方向性 例；型枠（鎧型枠、土砂型枠）
- ・施工現場の特徴を踏まえた通信の構築及び技術実証の方向性
- ・施工会社への理解促進の進め方
- ・遠隔・自動施工の適用判断に関する定量的な考え方
- ・取得するデータと分析の方向性

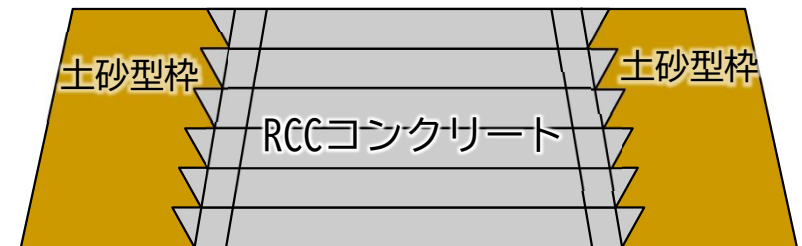


0型、2型(無人施工)



鎧模様と突起により容易に施工可能

よろいかたわく
鎧型枠



標準的な施工順序は土砂型枠→RCCコンクリート

どしゃかたわく
土砂型枠

第1回 令和8年6月10日(水) 13時00分～15時00分

第2回 令和8年7月15日(水) 13時15分～15時15分
・中間とりまとめ(素案)

第3回 令和8年8月6日(木) 13時15分～15時15分【本日】
・中間とりまとめ(案)

令和8年8月 中間とりまとめ

第4回 10月～11月ごろを予定

第5回 1月～2月ごろを予定

令和8年度内 提言